

ニュースレター 第53号 令和2年11月 日本FH協議会

厚生労働省、中野課長(子ども家庭局家庭福祉課) 東京都のFH視察

先月9月28日(月)厚生労働省に「要望書」を提出しに行きましたが、その際中心になり、FHの役割について質問をされた中野課長さん他3名の職員の方々が、10月8日(木)東京荒川区に、FHを開設している「陽気ぐらしの家 わかさ」宅を訪問しました。

これまでも、部長さん、課長さんも東京都(宮城県も)などのFHを訪問し、視察しています。対応した、若狭佐和子さんは次のように話していました。

10月8日(木)に、厚生労働省子ども家庭局家庭福祉課の中野課長はじめ4名の方が、東京都荒川区のファミリーホーム「陽気ぐらしの家わかさ」を訪問してくださいました。



当ホームの子どもたちの現状はじめ、家族構成、地域環境など、ホームの長所や課題など、陽気ぐらしの家わかさの特徴について紹介させていただきました。

学校から帰ってきた子どもたちの様子も見ていただき、我が家の素のままの(わがまま放題の笑)子どもの姿に、皆さん、温かい目を注いでくださいました。

それぞれのファミリーホームがそれぞれの特性を生かした養育をしていること、制度上では語れない個々の子どもへの対応がなされていることなど、直に感じ取っていただけたかと思います。皆さんとても熱心に話を聞いて下さり、厚生労働省としてもファミリーホームについて高い関心を持って取り組んでくださろうとしていることが伝わり、素直にありがたいなあという気持ちになりました。